

Q: 消防団行政（拠点整備）について

A: 消防団組織の再編、防災の拠点施設は重要、学校適正化後、有効活用等も含め研究していく。

窪 佳秀議員



市の活性化について

窪 五條インターチェンジ周辺利用計画の進捗状況について伺う。

都市整備部長 PPP/PFI手法の実施経験がある企業に意見を求め、内閣府や国土交通省のサポートを利用検討していく。

窪 今後のスケジュールは、**都市整備部長** 整備する区域を特定、完了後は地籍調査・用地買収、続いてPPP/PFI手法に基づく事業体系による整備の検討を進め、5か年で整備計画の完遂を目指す。

窪 早く見通しを聞きたいと言う声が聞こえる。期待に応えるにはチャンス・タミニングが重要であるが、考えを伺う。

市長 重要性は理解している。周辺整備が市全体に及ぼす効果について理解を踏まえ、財政状況を勘案しながら慎重に進めていく。

消防団行政について

窪 消防団本部の拠点整備について伺う。

危機管理監 建物火災等の減少で活動経験、先輩団員の指導等の機会も減少、また、市民が防災を学ぶ自助の観点から大変重要であり、消防団員や市民等が訓練・活動の拠点となる施設は必要。今後、設置に向け研究していく。

窪 防災センター的な役割も含む拠点施設が必要である。学校適正化等による空き施設の活用について伺う。
市長 消防団員の減少や高齢化が進み消防団組織の再編、防災の拠点施設は重要。中・長期的に学校適正化による校舎の有効活用等も含め研究していく。

(仮称) にぎわい棟について

窪 新庁舎建設敷地内に建設予定の(仮称) にぎわい棟の規模等について伺う。

都市整備部長 延面積300〜500平方メートルの

平屋若しくは2階建て、事業費規模約2億円を想定している。

窪 事業の財源と市の実質負担額を伺う。

都市整備部長 過疎対策事業債、県との包括協定に基づく補助金活用で実質負担額は4,500万円となる。

窪 施設内容について伺う。
都市整備部長 1階はトイレ、売店、イベントスペース、2階は多目的スペースとして市民に開放できる空間として整備していく。

窪 市民が憩い、にぎわう施設でなければならぬ。低価格で子供・高齢者が一人でも安心して食事ができる食堂、幼児・児童が喜ぶアニメシアター等の検討してはどうか。

都市整備部長 広く市民に愛される(仮称) にぎわい棟になるよう計画していく。

新町伝統的建造物群保存について

窪 新町通りの餅商一ツ橋が閉店し、報道では「愛され100年餅店に幕」とのことである。実態について伺う。

教育部長 店主と面会し話を聞き、閉店や看板の撤去等の状況を把握している。

窪 看板は新町通り、市の観光スポットや記念撮影スポット場所として五條市のシンボルとなっている。保存協力について伺う。

教育部長 新町の町並みの景観にとって独特の存在感がある。看板は個人商店固有のものである。物件所有者・商店の意向を伺い、対応していく。



(新町通り)



養田全康議員

Q: ジビエール五條への今後の搬入について

A: 市捕獲個体のみだったが、今後はガイドラインを遵守する申請者のみの受入を行う。

五條市の教育行政について

養田 奈良県下の高校生の人数は減少傾向にあるが、

五條市立賀名生分校の人数はどうか。また、1年生が

多数進路変更したと聞くが何かいじめなど理由があったのか。もつと魅力を感じ

てもらえるよう授業や環境改善していくべきで、今後

本格的に全国公募していく中での改善点について伺う。

教育部長 賀名生分校については増加傾向である。全校生徒数は1年生21名、

2年生4名、3年生8名、4年生3名になっている。

学校生活を過ごしていく中で5名の進路変更があった

が、いじめ等ではない。改善点として、実習等の授業

に力を入れ、特に地元農家や農業法人による実習を強

化してまいる。

養田 5名の生徒が残念ながら辞められたのをしっかりと検証し改善する必要が

ある。「多数入学するが多

数退学」ではいけない。しっかりとした対応をお願いする。

ジビエール五條について

養田 現在の捕獲状況とそ

れらの活用数量、そして活用しなかった個体について

はなぜか。また、一個体としての流通量について伺う。

産業環境部長 猟友会を含めた全体捕獲数は、猪15

72頭、鹿397頭、市管理のおりでの捕獲が、猪7

42頭。ジビエールへの搬入は301頭、搬入率41%、

鹿154頭捕獲し、ジビエールへの搬入は125頭、

搬入率81%であった。ガイドラインの活用方法にそぐ

わない個体は活用できないため、個体の体温や外見、

挙動、血液検査、大腸菌検査などを行い適正に処分し

ている。搬入個体も番号追跡を可能にしている。一個

体としての流通は猪が食用40%、ペット用・加工品に

20%、内臓等破棄40%、鹿

が食用25%、ペット用・加工品46%、内臓等破棄29%である。

養田 国や県が推し進めて

いるジビエ事業だが、ジビエール五條に他地域や猟友

会で捕獲した個体を搬入する話があると聞いた。地域

では五條市が捕獲した個体のみ搬入するとの説明であ

ったと記憶するが、今後どのようにするのか。

搬入するなら事前説明を地元自治会に行うのか伺う。

産業環境部長 搬入については当時、軌道に乗るまでは市捕獲の個体のみと説明

していたが、年々需要が増えている。平成30年4月に

農林水産省の政策目標としてジビエの活用を増加させる施策がうたれた。

今後、ジビエール五條衛生管理・運用ガイドライン

を遵守する者の申請者のみ受入を行う。自治会に事前

説明を行い理解を得ることが本来であった。しっかりと

と丁寧の説明してまいる。

職員の雇用について

養田 本年度の職員内定者の人数を伺う。

市長公室長 事務職20名、身体障害者枠1名、知的障害者

枠1名、保育士2名の24名である。

養田 以前から質問している障害者枠の社会人枠と職務体

験型の試験の実施はなされているのか、ないのであれば採用試験委員会では話合いがも

たれているか伺う。

市長公室長 事務方での議論はあるが、今後採用試験委員

会で議論を深めたいと考えている。

養田 民間では無期労働契約

や同一労働同一賃金など働き改革がなされてきている。五

條市においても働き方改革をお願いする。





Q: 五條市の水道料金は高いと聞か

A: 奈良県内28市町村中、安い方から13番目である。

藤富美恵子議員

災害時の避難所について

藤富 今年、避難勧告を何回出したかお尋ねする。

危機管理監 5回であった。

藤富 田園の場合、避難所が2か所あるにも関わらず、1か所しか開けられなかった。このようなことは田園だけではない。どのような基準で開ける、開けないを決めるのかお尋ねする。

危機管理監 台風などの規模を考慮しながら、空調や畳の部屋がある公民館を優先し開設させていただいた。

藤富 そもそも避難する方は高齢者の方が多く、災害は夜に起きる場合も多い。避難所は近ければ近い方が良い。今後、避難所は全部開けていただきたい。

また、多くの市民の皆さんは、指定された避難所以外には避難できないと思っておられるが、決められた避難所よりも近い避難所があれば、そこに避難してもよいのかをお尋ねする。

危機管理監 開設されている避難所であれば、最寄りの避難所に行っていたかどうかは問題はない。



座布団のない避難所があるが、高齢者や身体が悪い方のために、今後、座布団も備蓄品として検討していただきたい。

藤富 座布団のない避難所があるが、高齢者や身体が悪い方のために、今後、座布団も備蓄品として検討していただきたい。

水道事業について

藤富 今年の4月から水道料金が平均10%引き上げられ、そして、来年4月にも平均9%引き上げられようとしている。12月6日、国会で水道法改正案が成立した。水道の民営化について、連日テレビで取り上げられており、民営化されると「料金の高騰」、「水質の悪化」、「サービスの低下」を招く等が懸念されると報じられており、市民の皆さんの関心も高く不安に思っておら

れる。

五條市の水道事業の現状をお尋ねする。

水道局長 平成29年12月議

会で平均19%値上げの料金改正を議決いただき、急激な値上げを緩和することから2か年での値上げとなった。平成30年度の決算では赤字経営になる見込みで、平成31年度においては、2回目の料金値上げにより経営の回復が見込まれ、決算では黒字と見込んでいる。

藤富 今後の水道事業についてお尋ねする。

水道局長 五條市を含め県内の水道事業では、人口減少などによる水需要の減少、老朽化施設の更新、耐震化対応などの投資費用の増大、職員減少による技術力不足など、経営環境が今後、より一層厳しくなる中、課題に対応するために奈良県では、県内28水道事業の一体化について提案をしている。

県域水道一体化検討会では、スケールメリットを生かした組織統合や管理運営の統合や水質管理の統合など、経営業務の集約と効率化による持続可能な運営方法を県主導により28水道事業体と検討を進めている。

五條市水道局においても、五條・吉野エリア水道広域化の吉野町、大淀町、下市町と協議を行いながら、県域水道一体化による効果や課題を研究し、水道の安定供給と水道料金抑制につながるか検討している。

藤富 今回の水道法の改正案で、日本の水道が、いかに危機的な状況にあるか改めて感じたところである。「命の水」、まさに五條市も直面している大きな問題である。今後ともしっかりと検討をし、取り組んでいきたい。





牧野雅一議員

Q: 市の財政状況における他団体との比較・検証について

A: 類似団体との比較・検討を材料として、活用に努めてまいる。

財政健全化指標から見る市の財政状況について

牧野 将来負担比率の今後の推移見込みについてお伺いする。

理事 今後、新庁舎建設など、大型事業が続くことから、市債の借入れが増大する見込みで、将来負担比率についてもその数値は上昇する。

牧野 財政の健全化に向け「市債残高の縮減に向け鋭意取り組んでまいりたい」と答弁されているが、言っていることとやろうとしていることに矛盾があるのではないか。他の自治体の財政状況を確認した場合、財政健全化比率が本市と大きく異なることに驚くことがしばしばある。事情の似通った自治体の平均との比較・検証も必要ではないか。

また、それを分かり易く市民に公表することも大事ではないか。



政策企画監

類似団体との比較・検討は、比較材料の一つとしてその活用に努めてまいる。

牧野

多角的な分析を行うことにより、計画的に効率よく効果的に市民の皆様へ負担の少ない事業計画を立てることができ、市民の皆様様に安心していただける行政運営につながるものと考ええる。無理な大型事業計画を推し進めると、財政面だけでなく、考え方も硬直化しがちになる。財政面・考え方において、柔軟かつ適切な行政経営並びに市民の皆様にご理解をいただきやすい情報提供に努められることを願う。



財政健全化審査意見書について

牧野 監査委員意見書では、普通交付税の減少や大型事業実施に伴う地方債残高の増加等により、本市の財政

状況は更に厳しい状況に推移していることが指摘され、更に厳しい状況で推移しており、一層、将来を見据えた計画的かつ効率的な財政運営が必要と強い警鐘を鳴らしている。市民の公益を守り、公正な行政を保障するための機関である監査委員からの指摘を重く受け止める必要があると考える。

9月議会の答弁において「借金の状況は厳しいが、借金を増やすことは、市民に負担をかけるが、先を見越した私の理念でやってまいる」とお答えいただいている。市民の公益を守る立場にある市長の理念についてお伺いする。

市長 監査委員の意見書は謙虚に受け止め、危機感を持つているが、平成32年度で過疎対策事業債の期限立法が切れ、その先は不透明であり、今やれることを進めてまいる。

牧野 市民の公益性を第一優先に考え、取り組まれることを願う。

学校適正化事業について

牧野 私たちは、

故郷五條で育ち、今、世代を超えて少子化が進む中、その故郷五

條で育まれる子供たちのために、聖徳太子の教えにある「すべての人に等しく教育を説く」という理念に基づいて小・中一貫教育の確立につなげるべきと考えます。他所で子供を育む方々にうらやんでいただけ、五條市の教育環境の構築を目指されることを願う。



- その他の一般質問
- 1 大塔町の振興について
 - ① 振興に向けた進捗・展望について
 - 2 新庁舎建設並びに周辺道路整備事業について
 - ① 建設事業費について
 - ② 須恵4号線について
 - ③ 旧岡中線について
 - ④ 岡口3号線について
 - ⑤ 工事用仮設道路の設置について
 - 3 まちの確かな未来への取組について
 - ① 事業計画について
 - ② 財源確保の見通しについて